

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	済生会なでしこ園		
○保護者評価実施期間	2025年9月16日		～ 2025年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年9月16日		～ 2025年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの障害程度に合わせた支援の場(クラス)作り	子どもの成長やその時々課題に合わせ、柔軟に担当職員やクラスの変更を行っている	丁寧な発達段階や課題、成長を保護者と共有はしている中で、今後は、支援者同士も連携を図りながら引き続きその姿勢をもって、子ども達の支援の場を作っていく
2	通園の中で見える子ども達の姿を日々アセスメントとして解釈し、翌日の環境設定や遊び、課題の工夫につなげている	支援後のクラス担任での振り返りの機会を設けており、支援計画の進捗状況や、計画の中にある支援や環境設定については都度記入するシステムを作り、振り返りながら、次の支援へつなげやすいようにしている	アセスメントを兼ねた振り返りの場合は、日常の構造として時間を明確に作っていき、継続して丁寧に行っていく
3	保護者との情報共有や保護者同志のピアな関係性作りの場を設定している	保護者の希望や要望を受けながら柔軟に計画を行っている。保護者との情報共有は、即座に丁寧に…を気にかけてながら、安心して子ども達を預けていただけるよう工夫している	ご家族の望む情報共有の形を今一度確認していく。HUGシステムでの報告だけでは心配な保護者もおられる。送迎時の保護者との情報交換の場を大事にしていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設管理の課題が見られる	支援時間が長いこと、施設管理(掃除や修理)などに時間を作ることが継続的に難しいことがあるのが要因	安全計画を活用し、大掃除や遊具点検などの頻度を見直して行きたい
2	併行通園児の保護者への支援に関しては、保護者の就労などの事情もあり、十分に行えていない	利用時間が午後で、夕方にかけて終了することもあり、なかなか保護者支援や保護者同志のつながりの場を設定できていない	少人数でも取り組みを行いながら、ニーズを把握していきたい
3	職員の働き方や業務改善	支援時間の長さやケア度の高いお子様の支援を行っているが故に、環境設定や支援準備などがある。また、クラス制になっており、それぞれのクラスの取り組みがあるという複雑な支援の構造が考えられる	個別性に配慮しつつ、支援の構造を整理しなおす必要がある。土曜支援日の形態やそこに関わる人員を見直し、できるだけ平日支援に人員が充足する状況を作っていく